平成１４年１月発行
西眼科だより
nishi eye hospital
３巻３号
（季刊）

西眼科病院　〒537-0025　大阪市東成区中道4-14-26　06-6981-1132
<ホームページ>http://www.nishi-ganka.or.jp　<e-mail>office@nishi-ganka.or.jp

眼の病気の知識
◎白内障の話◎

■白内障とは?

水晶体はカメラで例えるとレンズの部分に相当します。この部分が白く濁ってくる状態を白内障といいます。原因は外傷によるもの・その他の病気に付随して起こるもの・薬物中毒によるもの・生まれつきのものなどがあり、最も多いのは老人性のものです。八十才を過ぎると殆どの人が白内障になります。

水晶体が濁り始めると、ものがかすんだり、二重に見えたり、まぶしく見えたりし、進行すれば必ず視力が低下します。

■治療法

初期は薬によって進行を遅くさせる目薬を使用しますが、それによって完全な治療は出来ません。進行した白内障は混濁した水晶体を取り除く手術により治療するのが一般的です。手術法は現在、超音波乳化吸引法という方法が最も多く行われ、３ミリくらいの傷から超音波で水晶体の濁った中身だけを吸い出し、残った薄い膜（水晶体嚢）の中に水晶体の屈折力を補正するための眼内レンズが挿入されます。

■眼内レンズ

水晶体は強い屈折力をもったレンズですので、この部分が濁って取り出してしまうと、それに代わる人工的に作ったレンズ（眼内レンズ）を挿入しなければなりません。これをしないと、手術後強い遠視になってしまい、網膜にピントが合わなくなるからです。

眼内レンズを入れた後でよく起こる現象として、患者さんがものが青っぽく見える、あるいは赤っぽく見えるという訴えがあります。

正常な人の水晶体は、通常年齢とともに黄色みを帯びてきます。すなわち正常な人は、年齢とともに色の濃くなる黄色いサングラスをかけている様な状態だといえます。したがって白内障手術で透明な眼内レンズを挿入すると黄色いレンズがはずれて青っぽく見えるというわけです。害はなく、時間と共に自覚しなくなります。

外来休診日
☆土曜・日曜
祝日及び
木曜の午後

診察受付時間
☆午前
九時～十二時迄
（初診十一時三十分迄）
☆午後
二時～四時三十分迄

☆目安箱の設置について

平成十三年八月より受付前に目安箱を設けました。当院の良い点、悪い点など何でも結構ですので、ご記入下さい。より快適に診療を受けて頂けるよう今後の参考にさせて頂きます。

◇電話受付時間

☆薬の電話受付

午前八時三十分～午後五時

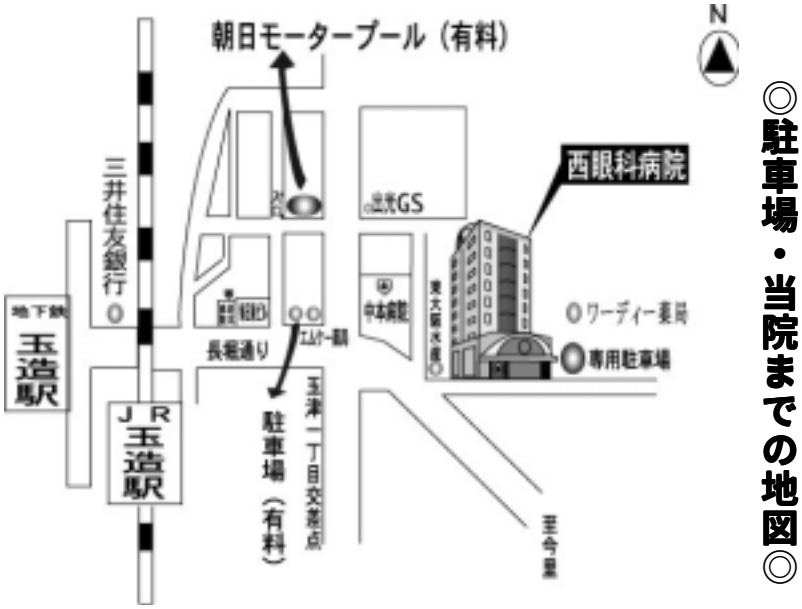
☆診察予約・変更・取消の電話受付

午前九時～午後五時

☆検査予約・変更・取消の電話受付

午後三時～五時

◎駐車場・当院までの地図◎



ＪＲ環状線　　：改札口を出て、真っすぐ進み長堀通りを出て東へ２００m

地下鉄鶴見緑地線：３番出口より徒歩７分

☆　予定制について　☆

当院では、平成十年十一月より再診予定制を導入しました。これにより患者様の来院時間が分散され、待ち時間が短縮されています。尚、再診予定の時間は受付の時間となっています。

ご理解とご協力をお願いします。

☆診察担当医師のご案内☆

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	第8診療室	松葉	図師	図師	吉野	松葉
	第7診療室	西	植村	西	宮本	西
	第6診療室	白石	萩平	植村	白石	谷川
	第5診療室	中川	松葉	中川	寺田	中川
	第3診療室	図師		谷川		図師
	第2診療室	根子	斉田	斉田	植村	斉田
	第1診療室	谷川／吉野	根子	根子／松葉	谷川	根子
午後	第8診療室	谷川	図師	谷川	休診	谷川
	第7診療室	吉野	斉田	図師		根子
	第6診療室			斉田		
	第5診療室	根子	松葉	松葉		松葉
	第3診療室	松葉	植村	根子		図師
	第2診療室		谷川			植村

◎　編集後記　◎

気付いたこと、尋ねたいこと、その他意見等がありましたら、目安箱をご利用になるか医療相談室（受付横）にお申し越し下さい。なお、前号迄の西眼科だよりをお求めの方は気軽にお申し出下さい。